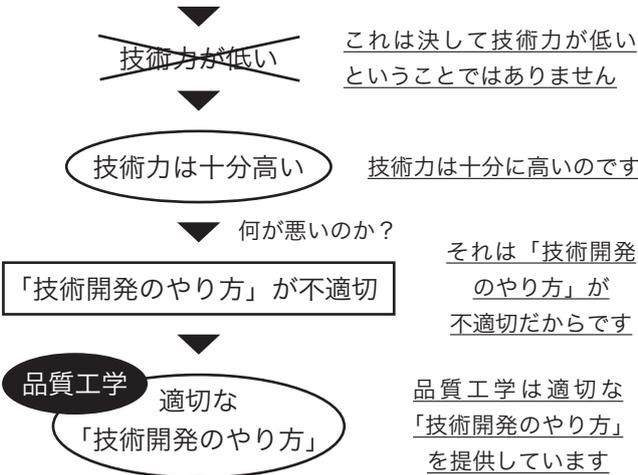
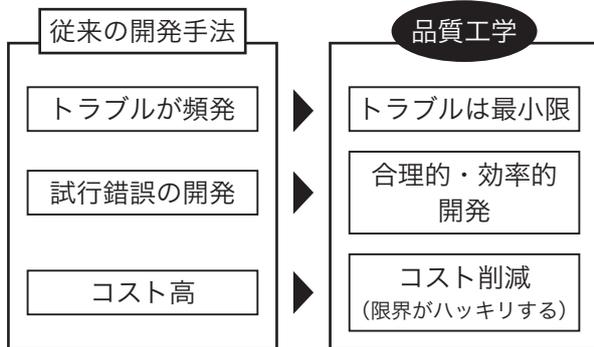


■ こんなことで困っていませんか？

- ・市場での製品のトラブルはありませんか？
- ・そのトラブル対策に追われていませんか？
- ・試行錯誤の開発に疑問を感じませんか？
- ・試行錯誤ゆえにいつも残業してませんか？
- ・コスト削減に行き詰まっていますか？



■ 品質工学を使うと、このようなメリットが得られます



■ Q & A

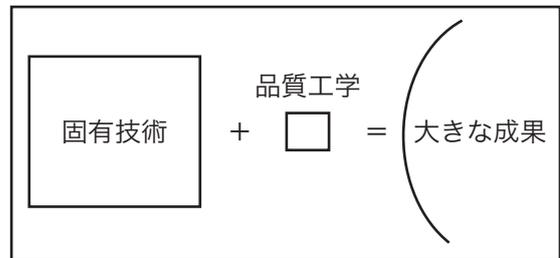
Q1 品質工学はとても難しい手法なのでしょうか？

A1 いいえ、品質工学は2日間で習得できる内容です。誰でも容易に習得でき、仕事に活用することができます。

Q2 品質工学による技術開発では、**現在自分の持っている技術（固有技術）**は活かせるか？

A2 活かすことができます。というよりもむしろ、品質工学による技術開発のメインは、技術者のもっている「固有技術」なのです。その技術力を最大限に活かすために、品質工学を使うのです。「固有技術」が主役で、「品質工学」は脇役なのです。

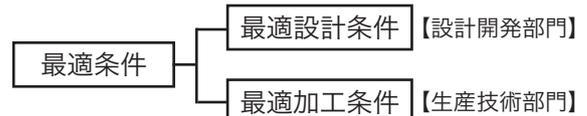
※つまり、下図のように「固有技術」+「品質工学」で「大きな成果」が得られるのです



品質工学では、皆さんの持っている固有技術が必要不可欠なのです

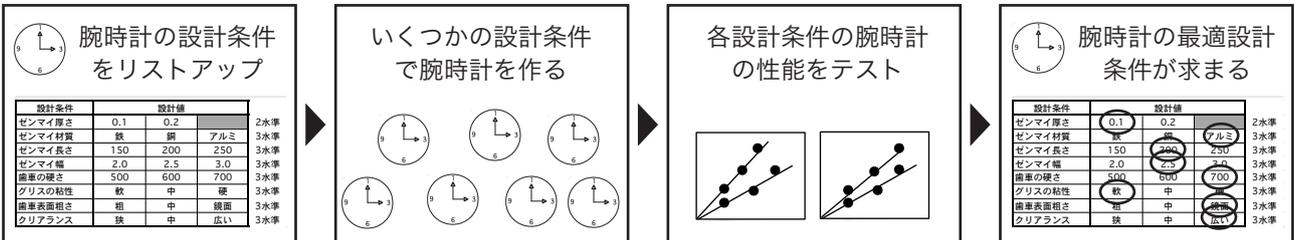
■ 最適条件を求める

品質工学で具体的にやることは「最適条件」を求めることです



■ 品質工学の適用事例

1. 「機械式腕時計の開発」【設計開発部門】



2. 「メッキ加工の最適加工条件」【生産技術部門】



3. 「シミュレーションにおける最適条件」【設計開発部門・生産技術部門】

